

## 2024 年度支援事業（ビジネスプランコンテスト）

課題提起・付加価値創造コース（アイデア募集）

### 採択ビジネスアイデア

アイデア名称 : みずべぐらしプロジェクト

採択者名 : 長谷部 駿

（注）本ビジネスアイデア（原文のまま）は、採択者の希望により公表します。  
本ビジネスアイデアの知的財産権は、採択者が有しています。  
本ビジネスアイデアの無断転載・引用を禁止します。

2024 年 9 月 2 日

主催者 一般財団法人 水・地域イノベーション財団

みずべぐらしプロジェクト@大磯

## 事業の背景

---

現在、地域が抱える課題として地域コミュニティの希薄化が問題となっています。また、我々の祖先は水辺に集落を形成し、水辺を中心に暮らしを営んでいましたが、現在は水辺と暮らしの間に隔たりができてしまっています。



## 事業の目的

---

そこで本企画は、水辺と暮らしを近づけ、水辺と共に暮らす新しいライフスタイル「みずべぐらし」を掲げ、自然と繋がる喜び・人と繋がる喜び・地域と繋がる喜びのある暮らしを実現することを目的とします。

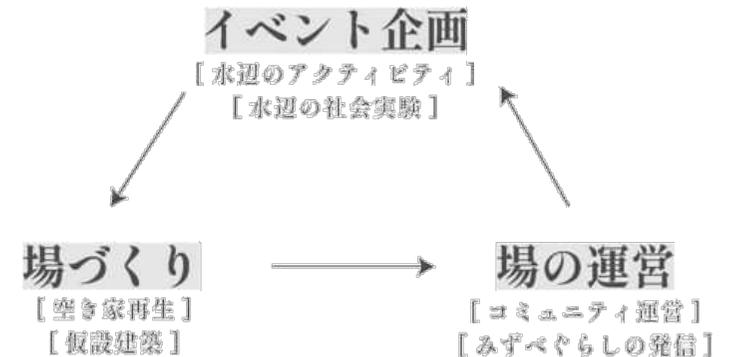


# ビジネスアイデア

---

## ターゲット

- 神奈川県大磯町内に住んでいる人
- 人とのつながりや居場所を求めている人
- 自然に触れる体験をしたい人



## 手法

- イベント企画
  - 水辺で過ごすきっかけをつくり、水辺の魅力に気づいてもらうために、SUP体験、テントサウナ、焚き火などのイベントを企画します。
- 空き家再生
  - 暮らしの延長として、日常的に水辺で過ごしてもらうための居場所づくりとして、地域の人を巻き込みながら、活動拠点の不動川のほとりの空き家を再生します。

# ビジネスアイデア

---

## 新規性

- 水辺で過ごすことを、「非日常」ではなく、「日常 (暮らしの延長)」と捉えて活動を行うこと。
- 都市の水辺ではなく、地方の水辺を拠点として活動をしていること。
- 水辺を愉しむためのソフトの場づくりの事例はあるが、「イベント企画」と「空き家再生」のソフトとハードの2つのアプローチで水辺での場づくりを行うこと。

## 成長性

- 大磯町で、水辺でのイベント企画と空き家再生による場づくりの事業が、効果を生むことができれば、水辺を起点とした地方の再生モデルとして、各地に展開することができること。

## これまでの活動実績

---

### SUP体験会 (4/21、4/28、5/26、6/30)

これまでに計4回開催し、大磯町内の20名の方にSUPを体験していただきました。水辺の魅力に気づき、水辺を身近に感じてもらうためのきっかけづくりとして開催しています。



# これまでの活動実績

## 大磯市での出展 (5/19、6/16)

毎月第三日曜日に大磯港で開催される朝市にPRブースを出展し、プロジェクトについての発信活動を行いました。大磯町内の多くの方々とお話しすることができました。



**みずべぐらしプロジェクトとは**

**きっかけ**  
大磯町が環境にやさしいまちづくりを進める中で、水辺の環境を改善し、水辺を身近な場所にするための取り組みとして、みずべぐらしプロジェクトを推進しています。

**大磯の魅力と地域課題**  
大磯の魅力は、自然豊かな環境と歴史ある町並みです。しかし、水辺の環境が劣化していることや、水辺を身近な場所として活用できていないことが課題です。

**活動拠点**  
大磯の魅力を最大限に活かすため、水辺の環境を改善し、水辺を身近な場所として活用するための活動拠点を設定しています。

**SUPとは?**  
SUPとは、スタンドアップパドルボードの略です。水辺を安全に楽しむための道具として、みずべぐらしプロジェクトで活用されています。

**ビジョン**  
これまで、活用されていた水辺と暮らしを近づけることで、水辺と共に暮らす新しいライフスタイル「みずべぐらし」を掲げ、自然と繋がる喜び・人と繋がる喜び・地域と繋がる喜びのある暮らしを実現します。

**どう実現するか**  
水辺のアクティビティ【SUP】と 健康【ホード】の両面からアプローチします。

**みずべぐらしプロジェクト**

**これまでの活動**

- リバークリーン 4/26  
夏休み期間中（4月26日）に、SUPの取り組みが盛り込まれた、リバークリーンを実施しました。
- 大磯市出展 5/19  
毎月第三日曜日に大磯港で開催される大磯朝市にPRブースを出展し、プロジェクトの活動を紹介しました。

**SUPで大冒険** 4/26、4/28、4/29  
大磯市（大磯町）で、SUPで楽しむ大冒険を開催し、200名以上が参加しました。

**これからの活動**

**活動予定**

- 3月～ 大磯町議会に提案書提出
- 3月～ 大磯町民のPRツアー実施
- 4月～ SUP体験のワークショップ開催
- 4月～ 大磯市（大磯町）の広報誌掲載
- 5月～ 大磯町民の健康講座開催

**空き家再生**  
健康【ホード】からのアプローチとして、水辺に暮らすための空き家を自分たちで再生・再活用し、「みずべぐらし」を実現する取り組みを行います。

**大磯市出展**  
毎月第三日曜日に大磯港で開催される大磯朝市にPRブースを出展し、プロジェクトの活動を紹介しました。

## これまでの活動実績

---

### 水辺の社会実験 (7/7)

活動拠点の不動川のほとりで、キャンドルを並べ、焚き火をしながら乾杯するイベントを企画しました。身近な水辺の可能性を感じてもらうための企画です。



## スケジュール

---

7月  
空き家探し/契約

8月  
空き家改修プランニング

9・10月  
空き家DIY (定期的にDIYワークショップも実施)

11月～  
水辺の拠点として運営開始

## 主要メンバー

---

長谷部駿 (共同代表)  
慶應義塾大学環境情報学部4年

高橋翼 (共同代表)  
武蔵野大学工学部建築学科4年

緑川絵梨  
横浜市立大学国際教養学部4年

浦田優唯  
慶應義塾大学政策メディア研究科2年